



みんなのスペース

◆あて先・問い合わせ

〒028-1392 (住所不要) 山田町役場総務課情報係(☎82-3111内線417)へどうぞ。

雀すずめ

毎晩、夕食を済ますと、夫に内緒で庭に餌をまいておく。私が早起きか、雀連中が早起きか、競争になってしまった。

毎朝私の負け。二、三十羽ぐらいかな、競いあって餌をついばんでいる。少しの音にも敏感で飛びたつて屋根に。窓ごしにその行動をながめているのも、朝の楽しみだった。満腹になったのか、一羽、また一羽と、飛び立っていく。日中には二、三羽来て残り餌に、ときには、花畑にもいたずらも。夕暮れになると、また雀連中が集つ

てきて、ちゅん、ちゅん。自分勝手に「老人二人の様子を見に来たの、ありがとう。暗くなるからねぐらに帰って休んで」と、声をかけてやる。震災の朝も、平穏な我が家の庭に、早朝から雀の連中が、ちゅん、ちゅんと、元気いっぱい、にぎやかすぎた。

菊地 サカエ(織笠・79)

弥生月やよい

弥生月とは、陰暦三月の異称である。と物の本に書いてあった。三月と言えば桃の節句のひな飾りが代表的なものです。TVのニュースなどでは、そろそろ桜前線が話題になる季節です。しかし天気予報などでは時に、雪のマークが出る事もあるようです。それでも春は着実に近づいて来ている。梅の蕾もまだ堅いようですが、少しずつ季節を感じられる色合いがして寒さもゆるむ三月六日は、二四節季の啓蟄(けいちゅう)で「そろそろ地下に眠る虫たちも活動を始める頃」という季節の節目を言います。

忙しくなります。浜は、養殖若布の早採り、天然のノリやマツモの口開けで磯物漁が盛んに活気に満ちた頼もしい時期です。大震災の「ガレキ」も相当数片づき、3・11の津波に見舞われた、山田町立船越小学校の落成も間近かとの情報が唯一明るいニュースです。小学校の児童たちや地域のPTAの方々と一緒に喜びたいです。

西館 隆(船越・80)

さんさおどり ありがとうございませう

生れ育った地の「さんさおどり」が東京に来ると耳にして、楽しみに待つておりました。年代的に知人はおりませんが、それでも嬉しいのは、さんさおどりが懐かしさを運んでくれるからです。

踊り手に、「どちらの方、お母さんお元気ですか」と尋ねて、ふる里にまだ思い出がある、そんな気持ちになりました。華やかに舞う皆さんの姿は、とても感動的で素敵でした。目頭を熱くした人も多かったと思います。靖国神社での奉納舞は、大勢の参拝者に囲まれ、見守られる中で心から精一杯の感謝を表現し

イラストコーナー

たと思います。郷土芸能は人の心を優しくしてくれます。継承する事の大切さを感じます。いつの日か、また郷土の芸能を楽しむことができたなら、うれしく思います。

大浦の皆さんありがとうございました。



ひじき。(大浦・12)



スーパー白米(大沢・14)



ペペロンチーノ(豊間根・14)

やまだ文芸広場

老いてなほ 頑固を通す余生かな

この頃は

言ひかけしことを忘れをり
そんな齢(よせい)とわれはなりしか

内館 洋一(飯岡・?)

荒川の巨星

病に勝てず天国へ

北海のひ熊逮捕され
さてどうなるか?

佐藤 兼男(荒川・87)

この道は

明日に続くと思いたい

最善を選んで今日となりけり

目立たぬが

ほっこりとする妻の顔

芳賀 誠一(豊間根・72)

笑顔の桜が、咲いて、
福幸(ふこう)の桜が、満開に咲いて...

佐藤 啓子(船越・36)

